



役員会だより

指導聖句

希望の源である神が、信仰によって得られる あらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、 聖霊の力によって、あなたがたを希望に満ち溢 れさせてくださいますように。

ローマの信徒への手紙 15:13

- P. 1「笑顔でお声がけ出来たら」
- P. 2 「ないものねだりから、あるもの探しへ」 「くすぶる灯心の火を消さず」
- P. 3 「8月21日の婦人会例会から」
- P. 4 「東北教区婦人会の皆様へ」
- P. 5 各婦人会から
- P. 6 感謝箱献金 2022 年度お献げ先について、第48回教区婦人会総会について
- P. 7 お知らせ

主教 吉田雅人

チャプレン 司祭 八木正言 会長 梅津庸子

大館聖パウロ教会 会長 藤原久子 仙台基督教会 会長 木村優木子

吉田憲子

笑顔でお声がけ出来たら

主教 ヨハネ 吉田 雅人

2017年11月30日(使徒聖アンデレ日)に公会の主教職に聖別され、東北教区主教に就任して、早5年がたとうとしています。東京以北で生活するのが初めてだった私にとって、当地での5年間はさまざまな体験をさせてくれました。その最たるものは、降り積もった雪は翌日には溶けるのではなく、「凍る」ということだったと思います。そのような中で、教区内21教会の多くの信徒の皆さん、そして幼稚園・保育園の教職員の皆さんと出会い、交わりのひと時を持てたことは大きな喜びでした。

一方で、2020年から始まった新型コロナ・ウイルス感染症の爆発的な拡大は、今に至るまで私たちの教会生活に非常に大きな影響を与え続けています。ことに感染初期の 2020年3月29日~5月31日までは、教役者によって主日礼拝が守られたとは言え、信徒の皆さんと共に礼拝をお献げすることは休止せざるを得ませんでした。このようなことは 1918年~1920年にかけて世界中で大流行したスペイン風邪(インフルエンザ)の時でもなかったことでした。現在は各教会の判断に委ねて、教区一斉の礼拝休止はなくなりましたが、愛餐会や茶話会の休止は現在でも続いています。

これらの現実は、私たちの信仰生活の大切な要素である「交わり (コイノニア)」が損なわれてしまっていると、多くの皆さんが感じておられるのではないでしょうか。もちろん「聖餐における交わり」や、「み言葉を聞くことを通してのキリストとの交わり」は、神様より賜るお恵みのうちに保たれています。しかし、礼拝後の「顔と顔とを合わせて」の、信徒同士の目に見える交わりということになると、とても悲しい状況が続いているのが実情です。

このような状況の中で、いや、このような状況がなくなって以前のような交わりができるようになってからも、ぜひ皆さんにお願いしたいことがあります。それは初めて教会の礼拝においでになった方、久しぶりに姿を見せてくださった方、ご自身にとってあまり馴染みのない方にも関心を向け、笑顔で「おはようございます」と一声かけていただきたいのです。

聖書を見ますと、イエス様はご自分が出会われた一人一人の人の問題に関心を向けられ、それがどんなに小さなことであろうと、どんな境遇の人であろうと大切にし、関わりを持たれたことが記されています。一人一人に声をかけ、祈り、援助の手を差し伸べられたのです。その最大の行動が十字架でした。そしてイエス様は十字架の上ですら、ご自身が苦痛と衰弱のさなかにあるにも関わらず、ご自分の隣りで十字架につけられた強盗に、目をそむけることなく、声をかけられるのです。イエス様はご自身を罵る者のためにも祈り、声を掛けられます。「声をかけられた」、それはコミュニケーションを持たれたということです。

実は私たち一人ひとりも、イエス様に関心を持っていただき、声を掛けられ、その交わりに入れていただいた者です。私たちにはそうしていただくだけの何の理由もなかったにも関わらず、イエス様は私たちの両親や友人・知人を通して声を掛けてくださいました。私たちは、この主にならって生きようとしている者です。これからも私たちは、私たちが出会うさまざまな人に関心を向け、笑顔で声をかけ、交わりを持ち、その人々を覚えて祈りつつ生活することを継けていきたいと思います。

we I will

「ないものねだりから、あるもの探しへ」

司祭 ヨハネ 八 木 正 言

現代社会において「発展」「開発」は、「ないもの」「足りないもの」を手に入れることと考えられてきました。そんな社会では、人間の幸せについても、「ないもの・足りないもの」を手に入れること、「持っていないもの」を買い求めることなのだと信じている人が多いのかもしれません。

しかし、心理学者デイヴィッド・マイヤーズは、モノと幸福感の関係について、こんな 結論に至ったことをその著書に記しています。すなわち「幸福とは欲しいモノを手に入れ ることではなくて、すでに持っているモノを"欲しい"と思うことだ」と。

いつの頃からか、日本では GNP (国民総生産)、GDP (国内総生産)という物差しで、幸せ度を測り、これが大きくなることこそが社会の目指す方向性だと信じられてきた感があります。しかし、GNP や GDP は単純に「使われたお金」の足し算なので、そこには犯罪や事故や病気によってかかったお金も含まれます。具体的に言うと、タンカーが座礁して大量の重油が海に流出、生態系に影響を及ぼしたいう事故が起これば、その被害総額が大きければ大きいほど、GNPを押し上げることになります。原生林が伐採によって失われるたびに、さらに誰かがガンの宣告を受けて治療に費やす金が膨らめば膨らむほど、GNPは上がるのです。そうなると、GNP(国民総生産)や GDP(国内総生産)を幸せ度の物差しにするのは誤りであると言えるのではないでしょうか。そして他の物差しを探すのではなく、「ないものねだりから、あるもの探し」への転換こそが、今に生きる私たち一人ひとりが真剣に取り組むべき変革の一手なのではと思うのです。

パウロはすでに約 2000 年前にこのことに気づいていました。だから「ありとあらゆる境 遇に対処する秘訣を心得て」いると語り、そのことに気づけたのは「私を強めてくださる 方のお陰で」あると言います。主が共におられるのであれば、どんな境遇でも満足を得ら れるのだと。



「ないものねだりから、あるもの探し」という標語を、そしてパウロの語った 言葉を心に留めて歩む私たち一人ひとりでありたいと思います。

「くすぶる灯心の灯を消さず」(イザヤ42:3) 会長 梅津庸子

消えそうでいても火種がありぶすぶすと燃えている。表記の聖書の言葉に、婦人会の状況が重なりました。小所帯になったとはいえ、教区婦人会役員は大役で不足なことが多かったことをお詫びしながらも、日聖婦に身近に関わることでの収穫は大きなものでした。イエス様を基として張り延ばされた多くの枝の数々。国内外の多様な働きを知り、名前だけは知っていた感謝箱献金のお献げ先も生きた働きとして具体化しました。特にジェンダーの問題に触れたり、女性司祭が初めて誕生するまでのいきさつを垣間見たことは非常に大きなことでした。そんな中、今年の4月に笹森田鶴師が北海道教区の主教に就任されたことは、教区役員在任中の輝かしい出来事になりました。今居るところの皆様の主にある働き、祈り、願いが「火種」を絶やさないのだと思います。静かに燃える灯を岩手県の次期役員会にリレーします。2年間の皆様のお支えに感謝!来年の総会のためにお祈りください。

大館聖パウロ教会 会長 マルタ 藤原久子

主のみ名を讃美いたします。

大館聖パウロ教会婦人会は会員数 10 名です。コロナ禍前までは月 1 回の定例会を開催して、小野俊作司祭様から聖書の学びのご指導を受け、また、対応すべき内容について話し合いをし、お楽しみのレクリェーション等で親睦を深めてまいりました。

しかし、長引くコロナの影響で、いろいろな方との交流や、愛餐会の食事作り等はできない状況です。このような中でも皆一緒に教会掃除や、其々オールターギルド、献花当番等の役割分担をし、諸活動で協力し合いながら進めています。

今年で交流 15 周年を迎える祈りのパートナーシップ教会の東京聖マーガレット教会との相互訪問は、今のところできないでいるのですが情報交換を通して、共にお祈りをしてお交わりをさせていただいています。お恵みに感謝しています。

現状ではコロナ禍で、いろいろな面で制約が出て、今まで出来ていた事は休止状態です。 早く終息し、自由な活動が出来るようにと願っています。

現在、大館幼稚園は来年3月の新園舎完成に向け改築中です。残念なことですが牧師館は解体されることになり、皆で片付けをしました。その中に昔の婦人会の資料が出てきました。懐かしさのあまり暫し手を休め見入ってしまいました。

婦人会のこれ迄の働きに思いを馳せる時、多くの方々の信仰に根差した心からの厚い祈りがあり、今まで繋がってこられたのだと思ったところです。確かにコロナや会員の年齢が増してきたことにより、出来ない事が多々あります。しかし、これからも先人の方々の思いを受け止め神様のみ声をお聞きしながら、これからも婦人会としての働きがなされていく様祈りたいと思います。

東北教区婦人会役員会のお働きに感謝いたします。そして各婦人会の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

仙台基督教会 会長 マリア・エリザベス 木村優木子

「8月21日婦人会例会から」―ヨハネ 吉田雅人主教講話―

来年3月に東北教区主教を退職になる主教様に例会でのお話をお願いし、残暑の時期で したが集まりを持ちました。

どうしたら婦人会の士気を高められるか、またもっと興味を持って貰えるかという思い もありました。

講話は婦人会の歴史から始まり 1892 (明治 25) 年に立教女学院の小宮珠子姉らが「メリーの友の会」を作り、会費を集めて伝道のために献げたのが始まりでした。翌年、米国聖公会婦人補助会のツィング夫人の補助会と一致感謝献金の話もあり「メリーの友の会」がこれに入会しました。そして 1897 (明治 30) 年にマキム主教夫人が会長の北東京地方部婦人伝道補助会が発足。各教会に広がり、東北教区にはランソン夫人が初代会長で 1921 (大正 10) 年に仙台で設立総会を開催しています。

日本聖公会婦人会の目的として「本会は、まことの平和を作りだすために、日本聖公会に連なる婦人信徒が共に、神の宣教のみ業に参与することを目的とする。」とあります。要は神が宣教をなさり、私達はそのお手伝いをするという事です。また、感謝箱献金の大切さの事も。最初は台湾伝道支援のため、戦後は退職婦人伝道師や教役者未亡人、婦人信徒の老後のためのベタニアホーム建設などに用いられました。

東北教区では「敬老基金運営委員会」があり、病床の人々や高齢者の支援をしており、9月には敬老祝会の行事もしています。世界では英国の母親が子供を育てるのを支援するグループが起源の、マザーズ・ユニオン。韓国ではオモニ会など。この講話で、婦人が困っている人を、また、教会をお支えするお手伝いをする歴史から始まったこの素晴らしい働きを再認識しました。これからも私達は、この働きを誇りを持って続けていきましょう。

東北教区婦人会の皆様へ

フローレンス 吉田憲子

2017 年 11 月に東北教区に参りましてからはや 5 年がたとうとしています。宮城県で生まれ、小学生の時を青森で育った私にとって、東北での 5 年間は感慨深いものがあります。そして、たくさんの方がたにお会いできましたこと感謝いたします。

この間、敬老基金運営委員会に参与することができましたこと、感謝いたします。このような委員会の働きは、他教区(私の知っている神戸教区や京都教区)にはない、東北教区独自の素晴らしい働きだと思います。この働きがご高齢の方々やご病気の方々にすこしでもお役に立てればと思いました。そのようなことを思っていた時に次のような言葉に出会いました。

それは 2021 年 7 月の新聞コラム「折々のことば」に、鷲田清一さんが中島らもさんの言葉を引用して書かれた文章で、私にとって忘れられないものになりました。

一人の人間の一日には、必ず一人、「その日の天使」がついている。(中島らも)

この言葉について鷲田清一さんが次のように書かれていました。

「ひどく落ち込み、思い詰めて自死すら考えた時、知人から思いがけない電話がかかってくる。ふと開いた画集の中の一枚の絵に震える。そんな偶然に救われることがあれば、それがその日の天使なのだと作家は言う。幼児や酔っ払いかもしれないが、彼らが神の使いとして日に一度、誰にも訪れるのだと思えば、ふんづまりの毎日にも隙間が空く。」

私たちもどこかで毎日天使に出会っているかもしれません。見知らぬ人でもニコッと微笑んでくださったり、一つの言葉かけによってうれしくなって頑張っていこうと思うことがあります。私はこれからの人生にあって、その日の天使に出会うことを通して、誰かのためになにか役立つことをしていきたいと思います。

教区の婦人会の皆様、いろいろとありがとうございました。





敬老基金運営委員会 2022. 11. 18

2022,11,11 東日本大震災を覚えて-午後2時46分の黙想- を終えて吉田主教様ご夫妻 (主教座聖堂)



各婦人会から

米沢聖ヨハネ教会 米沢聖ヨハネ教会婦人会では、この3年大きな変化もありました。 ご高齢の婦人方、教区婦人会役員として働かれたパウリン遠藤和子姉をはじめ3名の方が 介護施設に入居されました。コロナ禍の中で訪問が困難ですが、お祈りを共にしたいとい う願いと、9月の敬老の日に合わせて、「主の祈りカード」に寄せ書きをして送ることがで きました。11月には、エステル高山すゑ姉が天に召されました。103歳でした。100歳の 時には、お元気で礼拝に出席され、敬老基金委員会からと吉田主教様からお祝いを差し上 げました。会員は現在2名ですが、婦人会の大きな働きを引き継ぐため、小さな婦人会の あり方について知恵を寄せて祈らなければならないと思っております。(会長 小貫尚子)

盛岡聖公会 盛岡聖公会婦人会は、コロナ禍の為まだ例会は行われていませんが、毎月第3日曜日に役員会を実施しております。

教会婦人会の活動として初の試みで、盛岡聖公会婦人会だよりを発行しております。顔を合わせて交流出来ない分、心の交流ができるようにとの願いを込めて役員会で相談して作っております。

過日会員有志から寄贈品が多数あり、カナンの園の働きを覚えてミニバザーを開きました。教会では、地域の方々への奉仕のひとつとして、フードバンクを実施しました。各家庭で眠っている賞味期限内の食料品を、必要な方々に寄付する働きです。幼稚園の保護者の方々のご理解ご協力もあり、感謝の内に届けてまいりました。また、9月11日には涌井司祭を交換説教にお迎えし、嬉しい交わりの一時を過ごすことが出来ました。

(書記 越山香菜子)

大館聖パウロ教会 主の平和 当教会でも、コロナ感染予防対策として、三 密に心掛け教会生活を送っています。これから緩和政策が打ち出されてくるようですが、中々今までのような活動が出来ない状況下にあります。時は経ていきますが、婦人会として落ち着いてきましたら念願である教会訪問や交流、そしてレクリェーション等の内容を具体的に進めていけたらと思っているところです。

大館幼稚園は来年3月の新園舎完成に向けて動き出しました。これからも 神様の幼稚園として働きがなされていくことを祈り、少しでも応援できる体制を とりたいと皆で考えているところです。完成を楽しみながら・・・(会長 藤原久子)

仙台基督教会 5月より毎月のように婦人会例会を行い、近況をお知らせしたり交わりを持っています。8月には吉田主教様に講話をお願いして、婦人会の働きなどのお話を聞く集いも持ちました。また、9月は敬老祝会として八木チャプレンにギター伴奏で歌を紹介して頂き、皆で合唱しお祝いをしました。

事業部では梅干しや三陸わかめ、献品などを扱い販売しております。 11月に二か所の神学校に贈る「愛の宅急便」と「子供祝福式」のプレゼントの準備中です。 皆、役員などで力を合わせ頑張っています。 (会長 木村優木子)

仙台聖フランシス教会 毎月1回を目標にコロナ感染に注意をして、有志による教会外回りの清掃をおこなっています。夏は熱中症に気を付けながら作業は短時間ですませます。

また、婦人会有志でフェアリネンクロスの作成に取り組んでおり、完成するのを楽しみ にしています。 (会長 大槻静子)





☆日聖婦関係

- ◆ 9月 16 日横浜教区主教座聖堂で、日聖婦新役員のメンバーが武藤謙一首座主教様から任命を受け、 10 月に大阪教区前役員からの引き継ぎをし、第 27 (定期) 総会期役員会が本格的に発足しました。 第 27 (定期) 定期総会後第 1 回会長会は来年 6/20~21 に横浜聖アンデレ教会で開催の予定です。
- → 10月、「リーストコインの交わり」2022年の報告がありました。2021年1年間に日本国内で2,658,592円の献金があり、運営推進費と活動費として10%控除した2,392,592円を国際委員会宛に送金しました。アフリカ、アジア、ヨーロッパ、中東、太平洋諸国にある働き、世界祈祷日国際委員会等に献げられました。海外の社会事情がより厳しく、日本への交付はACWCJ(アジア教会婦人会議日本委員会)において今年度は見合すことになりました。
- → 11 月、感謝箱献金事務局からクリスマスカード 20 枚の提供があり、出来れば国連食糧計画 WFP「緊 急支援」活動への支援を請うものでした。とても素敵なカードで、仙台聖フランシス教会と仙台基督教会で 300 円(1部)で販売したところ即完売し、売り上げ金と献金を合わせ要請先に送りました。

☆教区婦人会関係

- ◆ 8月に林 順子さん(郡山聖パウロ聖ペテロ教会)が個人会員になりました。感謝!
- ◆ 8月、秋田聖救主教会から献金5万円が寄せられました。協力金、ナルド献金、被献日献金としてそれぞれ1万円、感謝箱献金(春・秋)として1万円ずつ配分しました。感謝いたします。
- **↓** 11月3日(木・祝)に行われた第106(臨時)教区会〈主教選挙〉で、フランシス長谷川清純司祭様が 当選され、今後は主教会の同意と司祭様の承諾によって主教被選者になられます。
- ◆ 11 月 18 日(金) 敬老基金運営委員会が仙台基督教会で開かれました。
- ◆ 11月23日(水・祝)東北教区第107(定期)総会が盛岡で開催されました。
- ◆ 2023 年 1 月 14 日 (土) 執行機関合同拡大会議(仙台基督教会)に会長が出席の予定です。
- ◆ 2023 年 2 月 23 (木・祝) 第 48 回東北教区婦人会総会の案内は P 6 をご覧ください。本誌に同封した「総会に関する書類」は来年1月10日必着でご提出下さい。

個人会員を募集しています!

教区婦人会から離れた教会で、婦人会の働きに繋がっていたい方、どなたでも個人会員になれます。下記連絡先までお知らせ下さい。

役員からひとこと

梅津庸子(会長):来年2月の総会で皆様と顔を合わせられること、今はそれだけが願いです。

大槻静子(副会長):大きく流れる人の世の波に足を掬われることなく、婦人会の持つ歴史と先

達の志を心に留め来年も歩みましょう。

太田紀子(書記):穏やかな日々の中にあっても対策を講じながら、しばらくはコロナ感染に十

分注意なさってお過ごしください。

西 正子(書記):集いの喜びと、皆様のご協力に感謝いたします。

小松原栄子(会計): 教区婦人会のお役を初めてさせて頂きました。先達の手書きの資料を拝読

し、そのご苦労や深い喜びにふれることができました。ありがとうございました。

中村みどり(会計):お守りのうちに2年間会計のお仕事をさせて頂きました。会員数が減少し

たなか、各種献金にご協力いただきありがとうございました。



東北教区婦人会 980-0803 仙台市青葉区国分町 2-13-15 (仙台基督教会内) **€** 022-225-2818